

九頭竜ダム湖にて外来種駆除を実施しました

-九頭竜川ダム統合管理事務所-

九頭竜ダム湖では平成19年に初めてコクチバスの生息が確認されたことを受け、平成22年から在来生物を保護するため福井県が主催となり、関係機関が協力して、毎年コクチバスの駆除活動を実施しています。

駆除には当事務所から9名（計19機関49名）が参加し、コクチバス駆除を実施しました。この日の釣果は、合計174匹（うち釣り148匹、刺し網26匹）と昨年の169匹を上回る成果を挙げることができました。

【開催概要】

日 時: 令和7年6月12日(木) 8:30~15:00

場 所: 九頭竜ダム(福井県大野市)

主 催: 福井県水産課

参加機関: 九頭竜川ダム統合管理事務所、大野市、奥越漁業協同組合、大野市漁業協同組合、電源開発(株)他14機関



主催者挨拶

参加者の声

- ・初めての駆除活動でしたが、少しでもお役に立てて何よりです。
- ・去年にも参加させていただきましたが、去年よりも多く駆除することができて良かったです。



釣果の確認

【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課
〒912-0021 福井県大野市中野29-28
TEL (0779) 66-5300 (代表)



※コクチバスとは

「北アメリカ大陸東部原産の肉食性淡水魚で、魚類、水生昆虫、甲殻類などを捕食し在来生物の生態系に大きな悪影響が懸念され、特定外来生物に指定されている。」